

【 個人的幕屋の祈り 】 (短 21 分)~(70 分)

清瀬キングダムチャーチ 岡田昌弘 改 2023.6.7, 初 2001.6.8

[1.~3.までは声を出して祈り、御使いの協力と悪霊の追い出しを期待します。()は祈りを省略できます。](王のキュービト=50cm とする)
(短 1 分) (3 分)

1. 主がモーセに示された幕屋は、今、私の祈りとなりました。…(幕屋の祈りを告白)
(モーセ五書の1/3は幕屋の記述だから、【幕屋の祈り】には神の知恵としての神の奥義があります。)
 - 私の内には、聖霊の住まわれる幕屋があり、巾 25m、奥行 50mの敷地が、高さ 2.5mの垂麻布で囲まれています。
(聖別、油注ぎ、主の臨在、主の統治、御国の力、栄光と力、家族の守り)(ビジョン未来画、パッション情熱、ミッション使命)
 - 幕屋は荒野に建っていて、私は悪魔の支配する世の荒野で生活をしています。(使 7:44, I コリ 6:19, II コリ 5:4, 詩 103:7)
 - 今、幕屋の入り口まで来ました。日の出側の東に入り口があり、中に入ります。

(短 4 分) (15 分)

2. 幕屋の中に入ると、銅の祭壇があります。巾 2.5 m、奥行 2.5 m、高さ 1.5m です。…(罪と咎の贖いを宣言)
 - いけにえの動物の血が祭壇に注がれ、祭壇にいけにえが乗せられ、火で焼かれ、全焼のいけにえを捧げます。
贖罪のいけにえ(主の御前に立つため)、なだめの供え物(王である祭司の任職のため)、和解のいけにえ(主の現れのため)、
を捧げます。(レビ 8:14,22,レビ 9:6,22,レビ 16:3-4, 11-14)
 - ① 神の子羊、キリスト・イエス様は今から 2,000 年前、ローマ支配のユダヤの地で、むち打たれ十字架につけられ、死んで血を流されました。このイエス・キリストの十字架の血で、イエスをキリストと告白する私の全ての罪と咎は贖われ、主の御前に信仰によって義と認められています。私の過去、現在、未来、全ての罪と咎は赦され、「義人の祈りは働くと、大きな力があります。」と書かれているように、私の祈りに奇蹟がともないます。(ロマ 5:9,ガラ 2:16,レビ 4:3~5,ヤコ 5:16)
 - ② また、主の打ち傷によっていやされたとあるように、私の霊・魂・体は癒されます。(イザ 53:5)
 - ③ 誓願の祈りをします。(レビ 22:18-19,マルコ 8:34-35)
 - 私は、自分の命を捨て、自分の十字架を負って、イエス様について行く、とお約束いたします。
「主を恐れ、主のすべての道に歩み」、「主を愛し」「主に仕え」、「しあわせのために」「主の命令とおきてとを守ります。
(ですから、私の特別な願いを叶えて下さい、ビジョンを実現させ、使命を達成をさせて下さい。… など。) (申 10:12-13)

(短 4 分) (15 分)

3. 次に、銅の洗盤まで来ました。直径 1 m、高さ 0.75m…(罪の汚れを清める)
 - 洗盤の水は、御言葉の水、聖霊の生ける水、御霊に教えられた言葉、です。(エヘ 5:26,ヨハネ 7:38,39, I コリ 2:13)
(人は日々汚れるので、洗盤の水で清めて後に会見の天幕に入り、油注ぎ、主の臨在、御国の力を得る)(出 40:31,32)
 - ① 今、王である祭司として立ち働きをするため、洗盤の水で洗い清めます。(I ペテ 2:9)
 - 「第一に神を愛し、第二に隣人を愛せよ」と書いてあります。悔い改め従順します。(マタ 22:37-40)
 - 「世を愛することは、神に敵することである」、そして「肉の欲、目の欲、暮し向きの自慢などを」「愛することは」「世を愛している」と書いてあります。悔い改め従順します。(ヤコブ 4:4, I ヨハ 2:15,16)
 - 「むさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです」と書いてあります。悔い改め従順します。(コロ 3:5)
 - 「善悪の知識の木からは取って食べてはならない。」とあり、「神が、さばく方」「さばく方は主」「主の裁きはまことであり、ことごとく正しい」と書いてあります。悔い改め従順します。(創 31:24,詩 75:7)(I コリ 4:4)
 - ② 愛するイエス・キリストの十字架の血と、天地の創造主イエス・キリストの御名によって、私の霊・魂・体を聖別します。(詩 91:14,箴 10:29,コロ 1:20, I テサ 5:23)
 - 主の敵、悪魔サタン・悪霊・病の霊・家系の呪いの霊・死の霊・ハデスの霊・汚れた霊よ、王の王イエス・キリストの御名とわが内におられる聖霊によって縛り命じる、私から出て行け、2度と戻ってくるな。(詩 37:20,マタイ 12:28-29,黙 17:14)
 - ③ 今、イエス・キリストの十字架の血により清められた王である祭司の服を、上から下まで身につけました。(黙 7:14)
 - これで、王である祭司として立ち働き、会見の天幕に入り、聖所、至聖所の祈りが出来ます。…(王である祭司を宣言)

(短 1 分) (2 分)

4. 次に、巾 5m、奥行 15m、高さ 5mの会見の天幕まで来ました。…(主の臨在と御国の現れ)
 - 会見の天幕の手前 10mが聖所で、奥 5mが至聖所です。
 - 東にある入り口から天幕に入りました。
 - 聖所の左側に7つのともし火皿のある金の燭台があり、右側に12個のパンを載せた金の机があり、聖所の正面には金の香壇があります。
 - 奥には至聖所があり、金の契約の箱が置かれています。

(短 4 分) (15 分)

- ① 金の燭台まで来ました。巾 1 m、高さ 1m です。…(聖霊と火の満たしを宣言)(手を上げて祈る) (レビ 24:2-4)
 - 7つのともし火皿に燈心の管があり、通り良き管として掃除します。今、私は心をイエス様に開き、隠されている所は
何一つ無く、良いことも悪いことも、信仰も不信仰も全てが主イエスの御前に明らかにされています。
 - 「御霊によって歩みなさい。」「なぜなら、肉の願うことは御霊に逆らい、御霊は肉に逆らうからです。」とあります。(ガラ 5:17)
 - この金の燭台に、イエス・キリストが与える「聖霊と火とのバプテスマ」を与えてください。聖霊の油を注ぎ天から火を下し、信仰の力を与えてください。「御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら」「神の国は」「来ているのです」(マタ 12:28)

- 金の燭台の右左に二本のオリーブの木があり、金の管で油を注ぎ出しているのは、エリヤとモーセに与えられ御霊の油を意味しています。(ゼカ 4:11-14, 黙 11:4-6, 詩 11:4-6)
- エリヤが祈ると、偶像崇拜していたイスラエルは三年半雨が止み、また祈ると、悔いたイスラエルの上に雨が降り実りを多く与え、国への裁きと祝福。エリヤが祈ると、やもめの家の穀物と油のつぼが尽きないで餓死せず、病死した長男が生き返り子孫への祝福。エリヤが祈ると、カルメル山でのバールとアシェラの偶像の預言者850人との戦いで天から火が下り祭壇の全てを焼き尽くし勝利し、偶像の預言者をエリヤは皆殺にした。エリヤが祈ると、エリシャに2倍の油が分与され継承者を任命した。このエリヤの油を注いでください。(手を上げて油注ぎを祈る) (I列 17,18:40, II列 12:9)
 - モーセが祈ると、イスラエルを奴隷にしていたエジプトの王と民は十の災いで打たれ、イスラエルは宝を持って出エジプトし、また祈ると、紅海が2つに分かれ乾いた地をイスラエルは渡り、また祈ると、紅海は元に戻り、追って来たエジプトの王と軍勢は死に絶え、全イスラエルは奴隷から完全解放された。また祈ると、荒野で幕屋が示され約束の地まで導かれ、朝にはマナ、夕にはウズラが与えられ、モーセが岩を打ち水が湧き、イスラエルは食べて飲んで生き、攻めて来た敵に勝利し。また祈ると、ヨシュアに油が分与されモーセの継承者となり、ヨシュアをリーダーに次世代の民が祈ると、ヨルダン川がせき止められ乾いた地を渡り約束の地に入り、ヨシュアをリーダーに祈ると、エリコの城壁が崩れ去り、民は戦って約束の地を獲得し、そして偶像崇拜した民は約束の地を失った。このモーセの油を注いでください。(出エジプト、ヨシュア)
- 「御霊を無限に与え」「神の言葉を」語らせて下さい。「光よあれ。」と言うと光が創られた創造の力と、「引き下がれ、サタン」と言うときサタンが離れていった支配する権威を、「御霊によって」発揮させてください。(ヨハ 3:34, 創 1:3, 黙 2:26, マタ 4:10)

(短1分)(2分)

- ② 金の机まで来ました。(巾 1m×奥行 0.5m×高さ 0.75m)…(御言葉を告白) (レビ 24:5-6)
- 金の机には12個のパンが6個づつふた山(聖書66巻)のついで、神の御言葉のパンです。
「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」「この方にいのちがあった」
「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」(ヨハネ1:1,1:4,1:14)
 - このパンはイエス・キリストの体であり、いのちの御言葉のパンです。
 - 「あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられて」いる、とあるように、私たちは、12使徒と12部族の預言者たちが聖霊によって書き残した、聖書66巻の御言葉の上に建てられました。(エペ 2:20, IIペ 1:21)

(短2分)(5分)

- ③ 金の香壇まで来ました。(巾 0.5 m×奥行 0.5 m×高さ 1 m)…(賛美と祈りを告白)(手を上げ神を賛美し祈る)
- 賛美と祈りが香の煙のように天に立ち上り、神である主に喜ばれます。(使 2:19, 黙 8:4)
 - 「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くてくださったことを何一つ忘れるな。」×3回 …(父、御子、御霊)
「主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、わしのように、新しくなる。」
「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわざを語り告げよう。」(詩 118:17)
(過去、神である主が良くて下さった、大いなる恵みを思い出し感謝する。)(詩 103:2-5)
 - 「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」×12回 …(12部族への永遠の相続)(II歴 20:21, II列 13:18,19)

(短3分)(10分)

- ④ 今、イエス様の十字架の血をたずさえて、至聖所にまで来ました。巾 5 m、奥行 5 m、高さ 5m です…(御国の現れ)
(大祭司が年1回至聖所に入れたが、イエス様の死で隔ての幕が裂け、いつでも異邦人が入れる。)(ヘブ 8:3,9:7)
- 目の前に金の契約の箱があります。巾 1.25 m、奥行 0.75 m、高さ 0.75 m です。
 - 契約の箱の中には、モーセの十戒の石板2枚、芽を出したアロンの杖、マナの入った金のつぼが入っています。(民 17:10)
(律法を守らなかった罪、神の権威に逆らった罪、御言葉を守らなかった罪を示しています。)
 - 箱の上には金の贖いのふたがかぶせてあります。(全ての罪の贖いを示しています。)
 - ふたの上には金のケルビムが2体向かい合わせに乗せてあります。(主の栄光で救いを保証しています。)
 - 贖いのふたの手前に、皿に入ったイエス様の十字架の血を指で7たび振りかけ、残りを手前に注ぎかけます。(レビ 16:14)
 - 私の内にある幕屋を、『自分と家族の罪』から贖い清める祈りをし、自分と家族の祝福と守りを得ます。(レビ 16:17)
私が『知って犯した罪と知らずに犯した罪』から、私の内にある幕屋を十字架の血で贖い清めます。』(ヘブ 9:7)
私の(妻)(息子)(娘)(父母)が、『知って犯した罪と知らずに犯した罪』から、私の内にある幕屋を十字架の血で贖い清めます。』
 - これで、私と私の家族の罪から、私の内にある幕屋は、イエス・キリストの十字架の血で贖い清められました。
 - 主は、私と私の家族を祝福し守って下さいます。もう私が滅ぼされることはありません。

(短1分)(3分)

5. 幕屋の祈りは終わりました。
- 神である主は、ケルビムの間から顔と顔を合わせて私に語りかけ、語り合ってください。(出 25:22, 民 7:89)
 - 神である主は、契約の箱からしるしと不思議と奇蹟を行われ、天にある栄光の富によって私の全ての必要を満たし願いをかなえて下さいます。(II歴 6:41, 詩 28:2, ヨシュ 3:13,4:18, タニ 6:27, 詩 135:9, ピリ 4:19)
 - 神である主は、昼は雲の柱、夜は火の柱で、また契約の箱によって私を導いて下さいます。初めて通る道だからです。(ネヘ 9:12, ヨシュ 3:3,4)